

# ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2016-2017

## 名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
■会長/木下 福郎 ■幹事/細井 俊男 ■会報・雑誌・広報委員長/木村 猛  
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



人類に  
奉仕する  
ロータリー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com) 2016-17年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

## 第1221回

2017年5月23日(火) 晴 第39回

～ 青少年奉仕月間 ～

斉唱 それでこそロータリー  
出席 会員53名(出席率算入人数41名)  
出席35名 出席率85.37%  
前々回補填率95.24%(5月9日分)  
ゲスト 総合警備保障株式会社 ALSOK  
名古屋支社長 富野 官さん

## 入会式

■歓迎のことは 会長 木下 福郎さん  
神田さん、ご入会おめでとうございます。我が名南RCはいい会員の方ばかりですので、1日でも早く皆さまと仲良くなって楽しいロータリーライフを送っていただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

### 神田 広一 (かんだこういち) さん

生年月日:1965年2月4日  
職業分類:証券業  
事業所:東海東京証券(株)鳴海支店  
趣味:ゴルフ・釣り  
推薦者:堀 敦さん



### ■神田 広一さん

入会のご承認を賜りまして、本当にありがとうございます。本日より名南RCの一員としてしっかりやらせていただきたいと思います。先日も前任の堀支店長との引き継ぎでご挨拶をさせていただきましたが、この名南RCで5つ目のRCに入らせていただく事になりました。いつも新人として入らせていただいて、皆さまの顔を覚えた頃にまたすぐ出て行ってしまいご迷惑ばかり掛けているのですが、しっかりやりたいと思います。私は元々バレーボールをやっていた人間なのでスポーツ好きではありますが、最近ほとんどやっていません。趣味は下手ながら少しゴルフをやらせていただくのと、魚釣りなどのアウトドアが好きです。会社の中ではイベントプロモーションという部署の部長をやっていて、このようなパーティーなどの企画運営をやらせていただいた事があります。少し出しゃばるのが好きな人間ではありますが、このロータリーの中では控えめに、しっかりやらせていただきたいと思いますので宜しくお願い致します。

## 会長あいさつ

会長 木下 福郎さん

皆さま、こんばんは。先週の木曜日からベトナムへ行ってまいりました。気温は日本と同じで30℃位あったのですが蒸し暑く、日本に帰ってきたら暑いと言っていました。これから暑くなるので、おそらく一緒になると思います。



本日はちょっとロータリーではないお話をしようと思ったのですが、皆さま、ほとんどの方が車の運転をされていると思います。何を基準にして車を選んでいるのかなと思います。それぞれ取引先の車ですとか、燃費や価格、性能など色々あると思いますが、安全についてお考えになったらいいのではと思います。

私は以前日産の重役の方とお話をした時に、「木下さんは交通安全のお守りを持っていますか?」と聞かれまして、私は信心深くないので無いですとお話しましたら、「あんなものを買うお金と時間があるならば、ドイツ車を買いなさい。」と言われました。その方は日産の方ですので、「日産車はどうか?」と尋ねたら「全然駄目です。」と仰っていました。靴と椅子と車は日本ではまだまだかなわなくて歴史が違うと言われました。

20年位前の話です。国産車は全てスピードが時速15km位出ると自動的にドアのロックがかかりました。何故ドアのロックがかかるのかと言うと、衝突した時にシャーシーが非常に弱いので、シャーシーが変形してドアが開いてしまうのです。シートベルトをしていないと車外に放り出されるので、ロックを強制的にするのだと。ロックをしているので事故を起こした時にはドアが開かないのですが、それは仕方が無い事だそうです。日本の高速道路では時速100km迄しかスピードを出してはいけない事になっていますが、現在世界的には時速130kmが一般的になっています。私が行ってきたベトナムでは何kmですかと聞いたたら、高速道路では時速70kmだそうです。衝突安全テストというのはそれを基準にしているのです。時速100km以上を出すと、時速100kmでぶつかっても何とかキャビンが変形しなければいいという設計になっているそうです。最近、阪神高速道路で多重衝突がありまして車が数台クラッシュしたのですが、その内の1台BMW320が炎上しました。中に乗っていた方は亡くなられたのですが、中が燃えていたのに出られなかったという事です。そこで考えられるのは、1つ

は脳に非常に大きなダメージがあり脳しんとうを起こして、その時に気絶して逃げられなかったという事なのか、もしくはキャビンが変形していてドアが開かなかったかのどちらかです。炎上したというのやはり燃料が漏れていたという事だと思います。

もう1つ中央高速で風邪薬を飲んだメルセデス・ベンツS550のドライバーが居眠り運転をしました。時速220kmで前のトラックに追突、トラックの下に潜り込んでしまって、車が原形をとどめなくらい壊れてしまいました。追突されたトラックが2回転して壁にぶつかり、ボンネットが外れて反対車線に入り、反対車線の車とぶつかって3台が重大事故になったらしいです。その車に乗っていた運転手の方は、シートベルトをしていなかったのですが、頭を天井にぶつけてかすり傷だけで済んだそうです。長野県警が助けに来て、ドアが開いたので警察官がとても驚いたと言っていました。その位変形していてもキャビンは一切変形していないという話でした。事故に遭う確率は非常に低いと思いますが、事故に遭った時に自分の乗っている車が助かるかどうかは非常に重要な事だと思いますので、皆さまもクラッシュテストの映像などはパソコンで見られるので、そういうものをよく見て安全な車に乗っていただきたいと思います。

## 幹事報告

幹事 細井 俊男さん

1. 次回5月30日（火）は第2回事前クラブ協議会です。時間は17時30分からで、場所は17階パインの間です。宜しくお願い致します。

## ニコボックス

- ◆ 総合警備保障(株)富野官名古屋支社長をお迎えして。

細井 俊男さん 伊藤 圭一さん 久米 伸治さん  
木村 猛さん 中村 勝さん 杉山 隆秀さん  
川辺 清次さん 筧 恵理さん 大橋さなえさん  
朝比美和子さん 入谷 直行さん 坂田 信子さん  
小野 雅之さん 安藤 修さん 佐々木元彦さん  
新原 尚さん 長尾 浅吉さん 東山 直史さん  
児島 徳和さん 犬飼りさ枝さん 森田敏二三さん  
三浦 和人さん 三島多恵子さん 中西 芳子さん  
佐々木 暢さん 日下智重子さん

- ◆ 入会の承認を頂きありがとうございます。本日よりよろしくお祈いします。 神田 広一さん  
本日合計 40,000円 累計 1,805,500円

## 委員会報告

■ロータリー財団委員会 委員長 三浦 隆さん  
皆さま、こんばんは。本日は「お宝拝見」でスターウォーズの鎧と刀を持って参りました。それと龍の掛け軸です。これには防災、火を防ぐ意味があります。京都の大徳寺の天井画にもありますが、あれは雨を降らせて布教をする、防災と宗教の2つの目的があります。龍というのはやはり雨を降らせて火を予防します。

次にロータリー財団の年次基金のお話ですが、まだ忘れての方は180\$、約20,000円です。どうか6月末までに宜しくお祈い致します。

## 同好会報告

■イベント・旅行同好会 代表 三浦 隆さん

イベント同好会というのを作ったのですが、まだ活動していません。大体こういう事をやりたいというのをお知らせします。雪の大谷、日の出山荘、山の上に温泉があります。これは毎年行っています。雪の大谷ウォークとって歩けるのですが、後半猛吹雪になって禁止になってしまいました。次に京都の六盛という料亭の手桶料理です。それから下鴨神社の流鏝馬です。これは3枚の板を弓で割ります。ここは公家の格好をした人と武士の格好をした人の2通りあります。昔の木の鞍と籠です。10月には半田の山車祭りというのがあり、5年に1度ですが1億円かけてやるそうです。これを秋の予定にしています。皆さま良かったら参加していただければと思います。

■グルメ部会 幹事 児島 徳和さん

皆さま、こんばんは。グルメ部会の方にご連絡をさせていただきます。本日出席袋に入れさせていたいただきましたが、今年度第2回目のグルメ部会の会食を行いたいと思います。日時が今年度最後となります6月27日（火）の18時より。この日は例会がございせん。場所はスッポン料理で有名な「たつ巳」です。前の女将さんが亡くなられて、その下でやっていた方が後を継がれています。スッポンは好みもあるので、若女将が創作料理をメインにされて、今は創作料理とスッポンという形でそれがかえって人気となり、予約の取れないお店の1つという事です。今回貸し切りで押さえたので、宜しくお祈い致します。なお、お店がそんなに大きくないので、参加できる方は早めに宜しくお祈い致します。

## アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

## 外部卓話

■卓話者ご紹介 会長 木下 福郎さん

本日の卓話をお願いしている富野官さんをご紹介致します。総合警備保障株式会社、名古屋支社長です。長崎県松浦市ご出身の51歳です。昭和59年4月に総合警備保障株式会社船橋支社に入社され、その後、東京・千葉の支社に勤務され、平成28年8月1日より現職に就かれています。先日も少しお話がありましたが、愛知県は交通死亡事故数が日本一だけでなく空き巣に入られる件数も日本一ですので、よく本日の卓話を聞いてご自分のご家庭や会社を守っていただきたいと思います。宜しくお祈い致します。

■「防犯はあなたが主役」

総合警備保障(株)名古屋支社長 富野 官さん

皆さま、こんばんは。ただいまご紹介いただきましたALSOK警備保障株式会社の富野と申します。本日はこのような席にお招きいただきまして誠にありがとうございます。本日は私が警備保障会社という事ですから、今どういった事が世の中で起きているのか、またどういった事をすればそういう事から身を守れ





るのかという所をお話させていただきたいと思います。私は何も特殊な事をお話しするのではなく、皆さま方がよく聞かれている事だと思いますので、気軽に聞いていただければと思います。

本日の主題としましては「防犯はあなたが主役」という事で、皆さま方自身が防犯に気をつけていただきたいという事です。スライドでは犯罪のキーワードという事で、犯罪のチャンスをなくすと銘打っております。ここで私共を取り巻きます犯罪の状況という事で、全国の住宅の侵入盗の認知件数というのは、39,000件強という状況です。これは平成28年の1年間、1月から12月ですが、この件数は全国でも減少傾向にあります。警察のたゆまぬ努力という事で犯罪は減ってきております。ただ皆さま方はおわかりかもしれませんが、テレビやインターネットで情報が配信され、また凶悪な事件等が発生しているので、体感治安としては決して平和な世の中になったなという感じは中々しづらいのではないかと感じております。これを都道府県別で見ますと1位が4,154件で、占める割合で考えると結構高い割合となります。これがどこかと言うと、愛知県という事になります。住宅の侵入という意味では10年連続のワースト1位で、2位との差も非常に大きくて900件ほどあるというのが現状です。ですから、皆さま方は非常に危険な地域に住んでいるという認識をまずは持っていただきたいと思います。

取り巻く状況の中でどういった侵入があるのかと言いますと、1位は空き巣です。皆さま方が出かけている間に入って盗られてしまうというものです。

忍び込みというのが835件ありますが、これは夜間おうちの人が寝ている間に侵入して物を盗られるというものです。物を盗られるだけならまだいいのですが、そこで万が一物音がするからと起きて鉢合わせになると、逃げる泥棒もいるかもしれませんが向かってくる泥棒もいるので、これがどちらかという怖いです。

それから居空きという昼間に昼寝をしている、食事をしている、大きいおうちで無ければマンションやアパートなどではすぐに分かっていますが、人がいるのに入ってきて物を盗ってしまうというものです。やはり空き巣が75%という事は、泥棒も生業にしている人がいるわけですから捕まらないように、捕まったとしても逃げられるようにという事を考えますので、人がいる所よりもいない所を狙うという当たり前の傾向が出てくるかと思えます。これをまた細かく市町村別にワーストの順番を付けております。一宮市が316件、豊田市が216件となっており、名古屋市は区で分解しておりますので1位2位には来ておりませんが、市で言えば名古屋市が断然トップという状況です。その中で区を見ますと、5位の緑区、11位の中川区というこういった所が高いです。36位に中区とあるのですが、住宅では中区は低いのですが事務所ですと一番です。県内で一番事務所あるいはお店等の件数が多いです。

犯行の実態はガラス破壊、ガラス破壊と言いますがガラスを全体的にバリと割るわけではなくてクレセント錠の部分だけをコツコツと割っていく、ガムテープを貼ってドライバーを突き刺すなど、あまり大きな音を出さずに割る事が出来ます。被害の状況は貴金属やブランドバッグ等で約三十万円相当です。もう一つは扉の破壊です。左側はバーナーで

焼き切った形です。そこから手を入れてサムターンを開けて入ってきます。右側は錠前の所に穴を開けています。小さな穴でも針金などの器具を使えば開ける事が出来ます。こちらは貴金属他二百万円相当の被害です。この他にも一千万円の現金を盗られたというものもありました。盗られた事よりも一千万円の現金が家にあった事に驚きましたが、名古屋の方はタンス預金が多いとよく聞きます。そうは言っても茶の間に置いているわけではないのですが探し出せる所だとは思いますが、クローゼットなどを一斉に引っかき回して持って行くというのが手口です。もう一つは鍵の破壊です。鍵の部分の枠を歪める事でヘッドボルトが枠に引っかからないように曲げてしまい、強引に開けてしまうという事です。ただこの場合、最近鍵が1つだけではなくて2つ3つとあり、これを全部歪める為に時間がかかるという事もあります。そして事務所の金庫をバール等でこじ開けるといいます。こじ開けて中身を持って行かれる場合と金庫ごと持って行かれる場合があります。50kg位の金庫だと泥棒は持って行きます。これは警察の方が言われていましたが、毎日腕立てなどで体を鍛えていて、我々よりよほど強いと。我々からすると50kgの金庫なんてよく短時間で持って行けたなと思いますが、そのぐらいは何とかする人達がやっているという事らしいです。

その他の犯罪としまして、弱者に対する犯罪、特に高齢者を相手とした特殊詐欺です。愛知県内では各銀行・各信用金庫があまり使われていない口座等で多額の振り込み等が出来ないようにロックが掛けられています。この効果が出てきていまして、最近ではATMを使ったのではなく電子マネーを使った詐欺というのが増えているそうです。これはちょっと私もよく分からなかったのですが、マナカなどでどうやってやるのかなと思っていたらそうではなくて、コンビニ等にゲームなどで使うカードが売っています。そこに番号があって、コインで削ると番号が出てきます。これをネット上に入力する事でその分のお金が入ってくるという仕組みです。その番号を聞き出す事で多額のお金が相手に渡ると。新聞上では防犯上の事もありあまり、詳しくは書いてありません。いずれにしてもおかしい電話がかかってきた場合には対応しないのが一番ですが、話の内容で会社のお金を無くしたとかが身内で起きると、どうしても何とかしなくてはという気持ちが先に立ちますので、引っかかりやすくなります。一瞬考える、よく考えて親族に連絡をするのを徹底していただきたいと思います。私共も仕事上でATMの現金の装填をやっているのですが、仕事の中でよく隣に高齢者の方が携帯を持ちながら振り込みをしているのに遭遇します。そこで「どうされたのですか?」と声を掛けて実は振り込み詐欺だったというのが、昨年も愛知県だけで10件弱あり未然に防ぐ事もやっております。それでも氷山の一角という事で、多額の現金が搾取されているといった状況です。

他にも女性のストーカー被害では、ストーカーの果てに殺人までいたりします。子供についても誘拐・虐待。最近では千葉県松戸市で、私の前任の近くのようですが、そこでもベトナム人の小学生が殺害されました。あの事件は我々にとっても本当に深刻な出来事で、要は守る側に立っている人が犯罪者で

あったと。そうすると防ぎようがないのです。警備会社が泥棒を働くようなものですから、本当に我々もそういった目を世の中から向けられるのではないかと非常にショッキングな出来事でありました。

その他に最近これも流行りと言いますか、つい先日も情報セキュリティの犯罪という事で、標的型メール。さも知っている人、会社からの連絡のように添付しているものを開いてくれと、期限があるので早く開いてくれと言われて開けると、そこでウイルスに感染してしまう。先日ありましたのが、dos攻撃という事で、大量のメールを送りつけてシステムをダウンさせるとか、あるいはランサムウェア、ここに振り込まないと固まったパソコンが復帰しませんなどがあり、そこにまた仮想通貨を使うという新たな手口が出てきています。その他にもホームページに似たようなものを作り、暗証番号などを入力させて盗み取るというフィッシングが多くなっています。中々これは身近に起こらないので、皆さま方は認識しづらいと言うか遠い話だろうという感じでしたが、連休明けは日本よりもイギリスの方が多く感染したようですが、あのような事があると何らかの対応をしなくてはいけないなと思うと思います。

それからもう一つはテロの脅威という事でIS等の問題があり、我々もこれから2020年に向けてオリンピックの警備という事が出てきますので、本当に対岸ではなくて日本でも起こりうる事だと。昨日もイギリスのコンサート会場でテロがありましたし、タイでもテロがあったようです。そういう意味では人を配置する事で防がなくてはいけないのですが、人だけではソフトターゲットを狙われてしまうと、どの人が悪いのか、悪い事を考えている人なのか全く分かりません。そこに来て自爆テロでもやられてしまえば、收拾がつかなくなります。今はその犯行の予兆を何とか見つけようという事で、画像処理で人が緊張した時の熱、あるいは体の揺れ、揺らぎという表現をしているようですが、これを画像で解析して、そこにいる人に危険だとマークをつけて、我々警備員が詰めていって声を掛けて端に寄せていくという事を試行しています。勿論金属探知機で入場者の検査も行い、昨年伊勢志摩サミットがありましたので、その時にも実際に行っております。こういった広範囲に亘るリスクが蔓延しているという状況です。

その他にも世の中には自然災害や感染症、食の安全といった色々なリスクがあります。そこまでは本日やるつもりはありませんが、もう一度防犯を考えてみようという事で、ちょっと専門的な事になりますが犯罪原因論という考え方があります。これは犯罪が発生した時に、何故それが発生したのか原因を突き止めて、その原因を除去する事で犯罪を防止しようという事なのですが、起きてからという事なので被害者の視点が欠けているので犯罪を減少させる事が中々難しいと。犯人と同じ人格、同じ境遇の人はみな犯行を犯すのかというところではないわけです。だからこの考え方は他の所には当てはまってもちょっと犯罪という所ではそぐわないのかなと。

ならば犯罪の機会を与えないようにしましょうという考え方があります。犯罪機会論という事で、犯罪の実行に都合のよい状況があると簡単に犯罪に走ってしまう、逆に犯罪の実行に都合の悪い状況が

あると犯罪を躊躇してしまう。犯罪を未然に防止しようという考え方です。これは隙を見せなければ犯罪者は犯行を思いとどまる、隙を見せてしまうと犯行に及んでしまうという事です。

ここでまたちょっと難しい話になりますが、領域性、監視性、抵抗性という考え方がありまして、領域性というのは犯罪者の力が及ばない範囲を明確にする事です。おうちで考えていただくと、塀を立てて中に入れない。それから監視性というのは、中に入ったとしても犯罪者の行動を把握するという事です。要は見るという事。見通しが良ければいいのですが、見通しが悪いと犯罪者が何をしても分からないという事です。それから最後に抵抗性という事で、犯罪者から加わる力を押し返そうとする事。塀を乗り越えて家に入ろうとした時に、家に鍵がかかっていればそれは抵抗ですよ。このハード面とソフト面の両方を充実させる事が重要であります。例えば屏やフェンスを設置して区画性が高まる、領域性が高まる。これに対して立ち入り禁止と明示をする事で、ここは家だから入ってくるなど明確にするわけです。縄張り意識が強くても境界が示されていなければ、立ち入り禁止だとロープだけつけてもあまり有効ではなく、立ち入りしたい人は勝手に立ち入ってきます。物を捨てるなどが発生するわけです。次に監視性ですが、ハード的な対応としてカメラや街灯を付ける事で死角がなくなるという事です。ソフト的には監視性という事ですので、住民の皆さまが知らない人に声を掛ける、住民同士が挨拶をするという事で、相互監視が出来ているという事が分かります。当事者意識というものを持ってやるわけです。死角がなくなっても見ようとする意志が働かなくては監視性というのは高まりません。カメラをいくら付けてもカメラを見なくては一緒です。3つ目の抵抗性ですが、先程も言いましたように鍵を付ける事で常に安全な部分が高まっていくわけですが、意識として鍵をかけ忘れてしまっただけは何もありません。ハード的に固めても自分の意識がなければ、これはあまり効果が得られません。今のところをちょっとまとめますと、領域性によって標的に接近できない、屏を付ける事で中まで入ってこれない、強引に入ってきて監視性、ライトが付きました、カメラがあるという事で躊躇するわけです。それでも中に入ってこようとした時に、鍵がかかっている、頑丈な扉であるなどがあって初めて犯罪者は目的を達成しようとしなくなります。犯罪者にとって入りにくい領域を作って、犯行を行いにくい環境を作る、目的を果たせない犯罪対処の傾向を作る。これが犯罪に強い環境になり、更に犯罪のチャンスがない環境という事が言えると思います。

もう一つ、「割れ窓理論」というのを皆さまはご存じだと思います。窓が割れているのを放っておくと、「ここは直さないのかな。割れているのならは何をしてもいいのではないかな。」という事で、だんだんと秩序が乱れていくと。むしろこれは入ってくれと言っているのではないかという事で、入りやすい環境になってしまい犯罪が発生してしまうという事です。

防犯の対策という事で、時間・光・音・地域の目というのが非常に効果的で、これを合わせる事で防犯効果が得られるという事です。時間というのは、鍵がかかっているのに時間がかかります。光は



センサーライト等で明るくすると、周りからよく見えるので犯罪を起こしにくい。音はセンサーで感知すると音が出る、あるいは下の玉砂利を踏むと自分の存在が人に知られてしまうので入りたくない。それから地域の目という事で、狙っていた時に近所の人から声を掛けられる事でこの人達は見ているなど、このコミュニティは人を意識しているなどという事でやりたくないと思ってしまうわけです。

身近な防犯対策としてよくありがちなのが、ポストや植木鉢の下に鍵を隠すという事がありますが、これは絶対に止めていただきたいと思います。それを取り出している所を見られる可能性もあるわけです。泥棒は下見をする場合も非常に高いです。それから足場になるもの、梯子やバケツなども家の側に置いておかない。それを使って2階から侵入する事も当然ありますし、木や電柱を使う事もあります。それから長期の留守の間は新聞や郵便を止める、あるいは中にスコーンと落ちて入り口にためないような工夫をするといった事も必要かと思えます。ゴミ出しの際もいちいち施錠をしていただきたいです。本当に狙っているとその隙にちょっと中に入って、例えば鍵を中に入れていてその鍵を持って行かれるという事もあります。それから植栽の剪定で見通しを確保する。植栽で中が見えないと中に隠れて悪い事が出来るので、そういう意味では植栽を少し低くして中が見えるようにするといった事も必要です。それから門灯や玄関灯を点灯して家の周囲を明るくする。常時明るくなくても人が通った時だけ明るくするといったセンサーライト等もあります。先程も言いましたが、挨拶・声掛けで地域の目を強化するという事です。身近な防犯対策としましたが、これはお金のかからない防犯対策という事になります。

扉の防犯対策という事で、ドア錠に合わせて補助錠も付けるとか、扉の隙間にバールを入れてこじ開けられないようなガードプレートを付けるとか、扉自体を丈夫なものにする。アルミの扉は下が簡単に蹴破れますので、扉自体を強くします。それから窓については補助錠を付ける事で、皆さま方はご存じかどうか分かりませんが、クレセント錠が開けられたとしても上に補助錠を付けておきますとそれに引っかかって開きません。その時に泥棒は片方の窓ガラスを全部破って入ってくるのかというところあまりそういう事はしません。開かないと思ったら他の事を考えます。それから建具自体を防犯性の高いものにするなどありますが、この辺は全てお金がかかる防犯対策となります。先程も言いましたセンサーライト、防犯カメラを付ける。やはりカメラは抑止力になります。絶対とは言いませんが、あるのとないのとでは違ってカメラがないから自由に来たという事もあります。それから振動や不正に開けられた時にブザーを付ける。ブザーが鳴ると注目が自分の所に集まりますので、泥棒は自然に逃げてしまいます。

防犯対策の落とし穴としましては、事務所や家庭の機械防犯システムは皆さまの防犯対策をあくまでも補完するものです。ですから、機械警備に入れば100%大丈夫というものではありません。逆に毎月お金を掛けて設置しても、ONにしていなければ、かけ忘れていては何の役にも立ちませんし、ONにしているも窓が施錠されていないのを確認していないとすると、そこから入って短い時間で犯行に及び

ますので機械警備が役に立たなかったという事にもなりかねません。という事で、狙われるリスクが上がって犯行も短時間で行えるという事です。そういう意味では警備会社の私が言うのも何ですが、これだと言う100%の泥棒対策は残念ながらありません。これは自身が守るのだという、犯罪に遭わない為に、そして万が一遭っても被害を最小限にとどめるという対策を日々の生活の中で考えて実行していただく。それでも心配なので色んなシステムを付けてそれを補完していただくという事が大事であると思います。ゴミを出す日は何曜日と決まっていますが、これが全然守られていない所は自分勝手な人達が住んでいるという事になるので、ここで犯行に及んでも隣近所の人には関心がないと犯罪者は考えます。そういう意味でも地域でそういった防犯行動を取っていただきたいです。それから入りにくい家を作る為の個人の防犯対策をやっていただきたいと思えます。そういう意味では、守るという意識と補助をやっていただかないと守り切れないという事になりますので、転ばぬ先の杖という事で皆さまが防犯対策をしっかりとやっていただいて犯人に狙われない事をお祈り致しまして、本日の私の話を終わりとさせていただきます。ありがとうございました。

## 第1223回例会(6月6日)のご案内

外部卓話

NPO法人こどもハートクラブ

代表理事 小林 恵明さん